

1 対象児童 《省略》

2 児童の実態 《省略》

3 指導観

これまでに本通級指導教室では、本児童の苦手な認知特性を補い、学校生活や家庭生活におけるトラブル等に対応できるようにするための指導・支援を行ってきた。本児童の困りごとをより正確に把握するため、連絡ファイルや電話連絡を通して、保護者、学級担任と連携を図り、個別の指導計画を作成し、指導を行っている。

本児童については、ソーシャルスキルトレーニングを中心とした指導を重ねている。自己理解・他者理解に課題があるが、少しずつ周りが見えるようになってきていることから、今年度は、さらに自己理解を深めるために『グッド&バッド』や『自分探し』と題材を設定し、取り組んでいる。『グッド&バッド』で直近1週間の学校や家庭での自分を振り返り、『自分探し』では、自分の性格や特性に関することを振り返ったり、自分の行動を他者の行動と比較したりしながら深めたりする指導を行っている。自分の苦手だけに注目するのではなく、自分のよさを知り、なぜそれをよさと言えるのかを分析することで自分の努力に気付くことができるようにし、自己肯定感を高められるようにする。苦手な分析をする際には、自分の長所が短所を助けることにつながることを意識させ、『自分に合うスキルを自分で考えることができるようにする=自助力』につなげられるようにしている。自分で考えたことを実践に移すことの難しさはあるが、考えたスキルがうまく実践できなかった時には、次にどうしたらいいかを考えるという『PDCA サイクル』で考えることを身に付け、通級指導が終了した後、自力解決することができる力を身に付けていってほしいと考えている。

本通級指導教室では、Google classroom を児童一人に対し、1つ開設している。新型コロナウイルス感染症対策として、久喜市がオンライン・分散登校のハイブリッドで学習していた折にも、通級の時間割の中で、オンラインでの授業を行ってきた。このオンライン授業をきっかけにストリーム上で児童との情報交換を行ったり、chromebook を積極的に取り入れ、jamboard を活用した教材を使ったりして指導を行っている。

本児童は書く活動に苦手さは見られず、ワークシートへの記入もスムーズに行えているが、chromebook を活用するようになってからは、さらに表現の仕方が豊かになり、色を変えたり、強調したい部分を大きくしたりと本児童の力を最大限に発揮することができていると感じている。

本児童のよさを生かしながら、取り組む内容に応じて意図的に chromebook を活用して指導を行っていきたいと考えている。

Jamboard でワークシートを作成し、自分の気持ちや考えを付箋等で色分けし、取り組んできた。本児童の考えだけでなく、担当者の考えも同時に表示できるので、ヒントも適切なタイミングで提供できる。5年生ということもあり、タイピングができること、また在籍校でも積極的に活用しているため、本児童への負担がなく、意欲的に取り組むことができている。また、ドライブ上に自動で更新されていくため、家庭で思いついたことを加えることができるのも大きなメリットであると考えている。

さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大等で今後、オンライン授業に切り替わった際にも、家庭

と通級を classroom でつなぎ、いつもと近い形で授業ができることも chromebook 活用のよさであると実感している。(2 学期当初の緊急事態宣言下でのオンライン授業で実証)

感情の流れや本人の思考等、目に見えにくいもの、残りにくいものについては、担当がイラストや図等で整理し、まとめや振り返りの際に提示し、確認するようにしている。言葉だけのまとめ等では本児童の記憶に残りにくく、可視化されたものを見ながら話を聞くことにより、理解することにつながっていきたいと考えている。

4 指導の経過 <<省略>>

5 指導計画(「通級による指導」における「特別の教育課程」 令和 3 年度)

指導方針	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な認知特性を補い、伸ばす。 ・できていることを確認し、自覚することで自己肯定感を高める。 	
指導目標 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちや場の状況を読みとり、見る力、聞きとる力を高めることで、場に合った適切な行動をすることができる。 	
指導計画の概要 (主な指導内容)	○客観的に自分の行動や気持ちを振り返り、自己理解力を高め、自助力につながられるようにする。自分ができる行動を考え、学校や家庭での生活の中で実践できるようにする。	
	【自立活動の6区分に基づく指導内容】	
	健康の保持	障害特性により、忘れ物をしやすい状態が出やすいため、本人が自分の苦手を理解し、日常生活の中での工夫を身に付ける。
	心理的な安定	気持ちの切り替えが短時間でできるようにする。
	人間関係の形成	その場の状況に応じた適切な行動の仕方を身に付ける。
	環境の把握	ビジョントレーニングで見る力、集中力を身に付ける。
	身体の動き	微細運動、粗大運動を行い、力の加減、手指の操作性を高める。
コミュニケーション	気持ちや考えを自分の言葉で伝えられるようにする。	

6 本時の計画

(1) 指導の方針

【本児童の思いや願いを基に指導目標を考える】

・「他者との関係がうまくいっていないこと」、「忘れ物が減らない」、「整理整頓が苦手である」という思いを知り、これらを基に指導の目標を立てることにした。

【本児童の実態を把握し、要因を見立てる】

・自分ではやっているつもりでも忘れ物をしてしまったり、「なぜか友だち関係で注意を受けてしまって困っている」という言葉から、自己理解・他者理解をする力を高める必要があると考え、

指導方針を立てた。

【在籍校との連携を密にとる】

- ・連絡ファイルでのやりとりや電話連絡等を通して在籍校での様子を把握し、通級指導教室での取り組みを伝え、学級での見守り等のお願いをする。

【家庭の連携を図る】

- ・指導場面を共有し、本児童の思いや考え、実践に移そうとしている内容を共通理解し、家庭での見守りやその対応について共通行動していくこととした。

(2) 指導の目標

- ・自分の気持ちと他者の気持ちに違いがあることを知ったり、感じたりすることができる。
- ・自己分析し、自分の課題を改善するための具体的な方法を考え、表現することができる。
- ・相手にわかりやすく伝えるためのヒントを考えることができる。
- ・児童自身が自分の頑張りを評価することができる。

(3) 展開

時間	学習活動	学習内容	評価(◇) 支援(⇒) 指導上の留意点(○) *学習の意図等
1分	1 始めのあいさつ	○姿勢を正し、挨拶をする。	○姿勢を正し、視線を合わせ、挨拶することで授業の始まりを意識させる。 ⇒必要に応じて、具体的に声をかける。 ◇姿勢を整えて、元気に挨拶することができる。
5分	2 本時の予定確認	○「今日の予定」を確認し、「めあて」を考えて書く。 【教材・教具】 ・ホワイトボード ・予備のワークシート(紙ベース)	○見通しがもてるように「今日の予定」をホワイトボードに提示し、明確にする。 *いつでも確認できるようにする。 ○電波状況で chromebook が使えなくなった場合の方法も事前に伝える。 *chromebook が使えない場合は、紙ベースのワークシートを使って学習することを伝える。使えなくなった時には声をかけてほしい(ヘルプサインを出してほしい)ことも伝える。 ⇒わからないことについては、質問を受け付け、わかりやすい言葉で伝える。 ◇授業の流れに見通しをもち、自分に合うめあてを考え、書くことができる。

10分	3 グッド&バッド	<p>○一週間のできごとを振り返り、ワークシートに記入し、発表する。</p> <div data-bbox="523 309 879 504" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【教材・教具】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Good&Bad」のワークシート (紙ベース) </div>	<p>○一週間のできごとの中で印象に残っている「グッドな内容」「バッドな内容」に分けて振り返り、文章で表現する。</p> <p>⇒気持ちを表す言葉が抜けている場合は、追加質問をし、気持ちを表現することにつなげる。</p> <p>◇聞く相手がイメージしやすいように表現し、話すことができる。</p>
10分	4 気持ちの勉強	<p>○自分の気持ち、相手の気持ちを考える。</p> <div data-bbox="523 689 879 884" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【教材・教具】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・chromebook ・予備のワークシート (紙ベース) </div>	<p>○前回の「自分探し」の取り組みから自分と他者が同じ気持ちでいることばかりでないことがわかり、そのことについて整理して考えることができるようにする。</p> <div data-bbox="927 813 1433 1003" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>*前回の「自分探し③」のシートを確認しながら付箋をあえて大きくした意味を質問し、気持ちの強さを意図的に表現したことを本児童から引き出す。</p> </div> <p>⇒相手の気持ちを知るためのヒントを伝えながら、実体験をもとに振り返ることができるように必要に応じてヒントになる声かけをする。</p> <p>◇相手の表情やことば、言い方等で気持ちを理解できることを知り、他者のことを少しでも理解し、自分との気持ちの違いに気づくことができる。</p>
20分	5 「自分探し」	<p>○自分の苦手とすることについて原因を探り、解決法を考える。</p> <p>「忘れ物を減らすには？」</p> <div data-bbox="523 1592 879 1787" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【教材・教具】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・chromebook ・予備のワークシート (紙ベース) </div>	<p>○自分の苦手なことについて探偵になったつもりで、「どうして忘れ物をしてしまうのか？」原因を分析したり、忘れ物をしないための解決方法を考えたりしたことを Chromebook を使用し、jamboard で整理する。</p> <p>⇒思いついたことを jamboard で整理することで、必要に応じて教師がヒントを出すなどの共同作業をすることで負担を軽減し、興味をもって取り組むことができるようにする。</p> <p>◇客観的に自分を振り返り、自分を知ることができる。</p> <p>自分に合った解決方法を自分で考</p>

			えることができる。
15分	6 イメージ力 up トレーニング	○相手にわかりやすく伝えるためのヒントを考える。 【教材・教具】 ・chromebook ・予備のワークシート (紙ベース)	○お題に関して相手がわかりやすいと感じるヒントを出すために必要な情報を集める。 ⇒ヒントを出す際のポイントを必要に応じて伝える。 *「わかりやすく伝える力」を身につけることができるように言葉選びに注目させる。 ◇ヒントの出し方のコツがわからないときは自分から聞くことができる。 ◇わかりやすいヒントを複数考えることができる。 *「相手に伝わる喜び」を実感させる。
10分	7 まとめ、振り返り	○本時の学習内容を振り返り、自己評価及び感想を書く。 【教材・教具】 ・連絡ファイル	○授業を振り返り、児童の自己評価を認め、具体的に称賛し、達成感を味わうことができるようにする。 ◇自己評価をし、自分の頑張ったことを実感し、感想を書くことができる。 *じっくり取り組めたこと、自分の考えや思いを自分なりの工夫で表現することができたこと等について、具体的に伝え、できていることを実感できるようにする。
5分	8 片付け等	○片付け、帰りのしたくをする。	◇忘れ物がないように、片付けやチェックをし、帰りのしたくをすることができる。
13分	9 スペシャルタイム	○活動内容やルールを決めて、ゲーム等を行う。	○自分だけでなく、相手も楽しく活動ができるように内容等を考える。 ⇒活動時間は提示し、時間内でできるものであることを伝える。 ◇楽しいという気持ちを相手と共有することができる。
1分	10 終わりのあいさつ	○姿勢を正し、挨拶をする。	○姿勢を正し、視線を合わせ、挨拶することで授業の終わりを意識させる。 ⇒必要に応じて、具体的に声をかける。 ◇姿勢を整えて、元気に挨拶することができる。

